

# 第64期報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

## スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来



株式会社 昭和真空

(証券コード：6384)

### 経営理念

1. 我々の存在が「世の中を豊かにする」ためにお役に立つこと。
2. 仕事に本気で取り組み「物を創造する喜びとプライド」を得ること。
3. 仕事を通して「人間的に成長する」こと。

### 決算ダイジェスト

#### 売上高

11,964百万円

#### 営業利益

1,670百万円

#### 経常利益

1,700百万円

#### 親会社株主に帰属する当期純利益

1,240百万円

#### 決算のポイント

- ① デバイスメーカの次世代電子部品開発に対応（サンプル成膜・依頼実験）
- ② 国内外の水晶デバイスメーカの増産設備投資が継続
- ③ 光学デバイスメーカの設備投資は第2四半期後半以降回復傾向だが、継続的な増産投資には至らず
- ④ 電子・その他業界では、新規市場開拓に注力し、加飾、医療及びIoT関連分野、並びに大学等研究開発機関からの受注を獲得
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業活動に制限（海外渡航制限、納品地における行動制限等）
- ⑥ 第3四半期から資機材の調達環境悪化の影響を受けるも、代替品切替えなどの対策を行い、生産への影響を極力回避
- ⑦ 装置の共通モジュール部分の効率的な組立、品質管理体制強化による初期不良抑制により利益確保

### 次期の見通し

#### 売上高

12,500百万円

#### 営業利益

1,570百万円

#### 経常利益

1,609百万円

#### 親会社株主に帰属する当期純利益

1,081百万円

#### 今後の取り組み

- ① 戦略装置の開発と市場投入（各分野）  
—— 微細加工、表面処理（平坦化）、生産性向上、環境負荷軽減
- ② 顧客や大学等研究開発機関との共同開発実施と成果の実現  
—— 最先端要素技術を活用した新たな製品やサービス実現に向けたデバイス開発へ関与
- ③ 装置標準化（仕様共通化、製造工程標準化）の進展による生産効率改善  
—— ユニット単位の仕様共通化、組立ナビゲーター対応のモジュール拡大
- ④ 品質管理体制の強化  
—— 初期不具合情報などの社内連携及び品質検査体制強化
- ⑤ 海外子会社との連携強化  
—— 営業、生産、アフターサービス強化等
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症への対応（継続実施）  
—— 地域社会、取引先、従業員安全確保、海外子会社を含めた生産体制の整備等
- ⑦ 資機材の長納期化への対応（継続実施）  
—— 予測に基づく先行発注、代替品切替、柔軟な生産体制等

## 真空装置の技術革新に継続的に取り組むとともに、 顧客との共創により、 世の中のニーズに応えてまいります。

代表取締役執行役員社長 **小俣邦正**

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済及び国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、ワクチン接種などの感染対策と経済活動の両立が進み回復基調となりました。一方で、新たな変異株出現による感染再拡大、資源高や半導体などの部品不足により経済活動が停滞する時期もありました。期末にかけてはウクライナ情勢が世界経済に影響を及ぼし、先行き不透明な状況が強まりました。

当社グループを取り巻く事業環境をみると、ポストコロナ時代においては「新しい生活様式」が創造され、それを実現するために5GやIoTなどのデジタル技術を用いた新たな製品やサービスの開発が進み、これらに対応するため、電子デバイスメカによる次世代製品開発の動きが継続します。



こうした中で、当社グループは、蓄積してきた技術力を活かしてお客様からの問い合わせやサンプル成膜依頼に誠実かつ実直に対応し、また、お客様との共創などにより新技術の開発を進めてまいります。これらの取り組みを通じ、水晶デバイス市場及び光学部品市場で競争力を高めるとともに、新しい市場の開拓につなげ、業績の安定とさらなる成長を実現してまいります。

### 新製品情報：予兆保全用エッジコンピューティングシステム『EPIoT』

※EPIoT：Edge computing system for Predictive maintenance + IoT

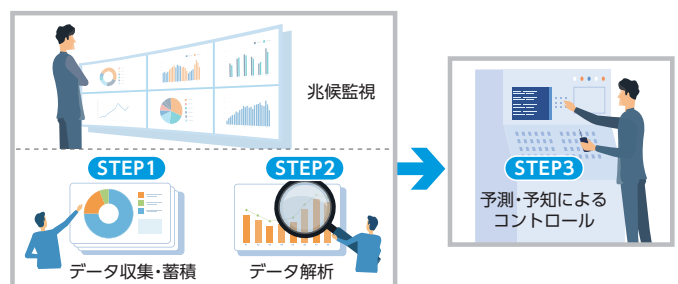
#### 製造現場のデータ活用によるメンテナンス変革

製造現場においては、生産ラインの安定操業を維持し、生産性を向上させることが重要です。しかしながら、意図しない生産ラインの停止は発生します。原因は、生産ラインに設置されている装置内部の部品摩耗、汚れ、腐食、温度変化による膨張などさまざまであり、部品ごとに発生原因、発生時期は異なります。

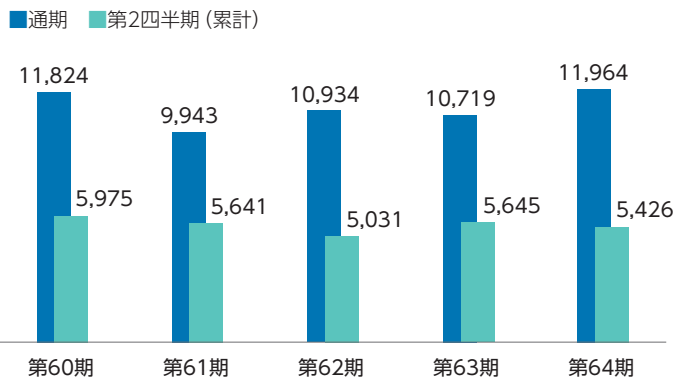
製造現場では予防保全として、定期点検により消耗品交換などを行いますが、定期点検前の故障発生、使える部品も定期点検で交換してしまうという課題がありました。

EPIoTは、装置稼働状態のデータ化、取得データのリアルタイム解析、継続的な兆候監視、トラブル前のアラート発信をIoTやAI技術により実現し、遠隔監視による故障や不具合発生の事前察知を可能としました。また、EPIoTは事前察知した不具合の対処方法も表示するため、製造現場はすぐに行動に移すことができます。

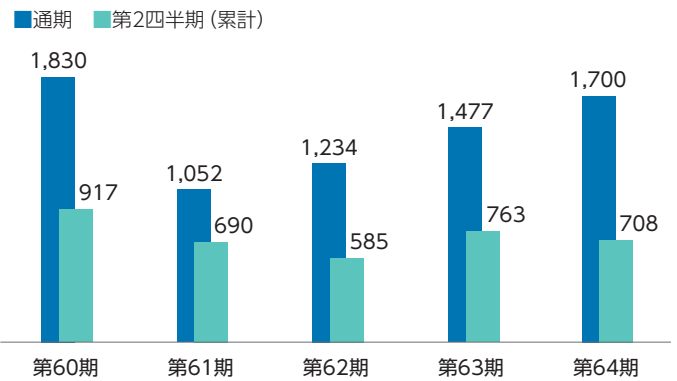
お客様は予兆保全により、必要な時期に必要なメンテナンスを行うことで意図しない生産ライン停止を防止し、生産性を向上させることができます。



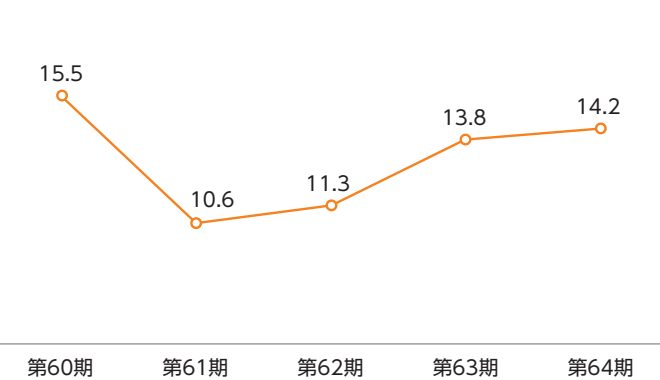
売上高 (百万円)



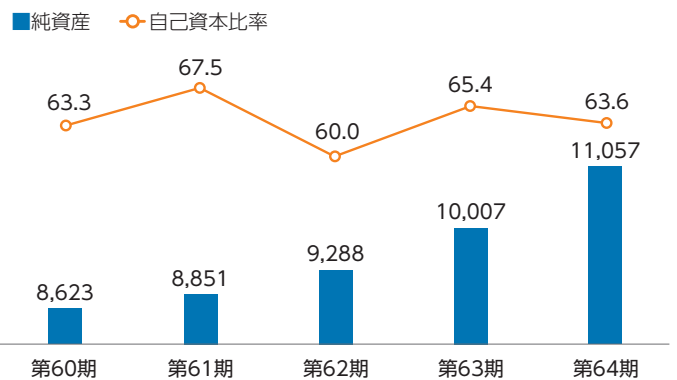
経常利益 (百万円)



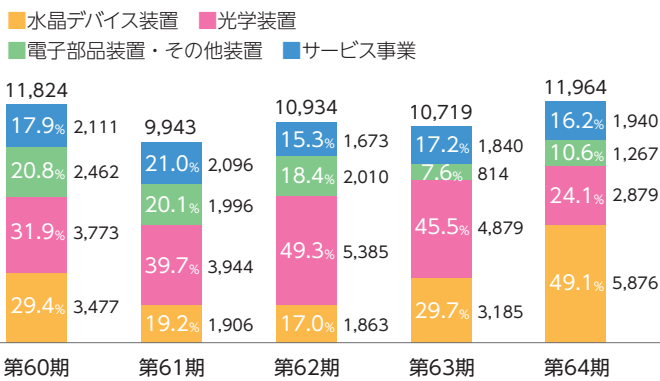
売上高経常利益率 (%)



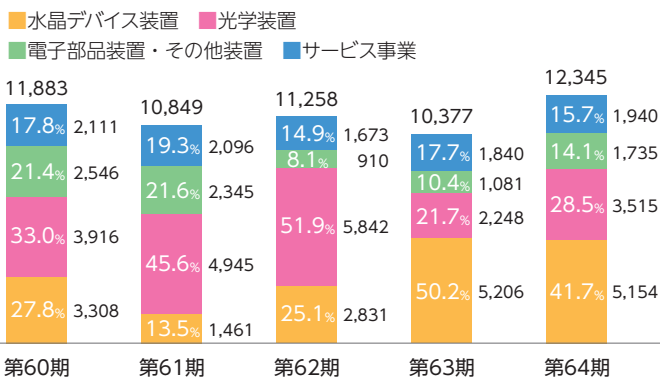
純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



品目別売上高構成比 (百万円)



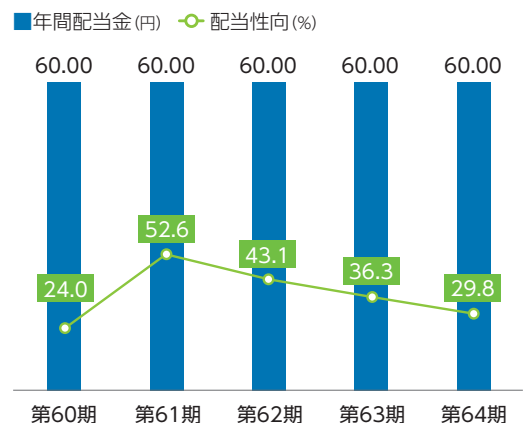
品目別受注高構成比 (百万円)



利益分配に関する基本方針

当社は、業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保及び財務体質の健全性の維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。内部留保につきましては、経営環境の変化に対応すべく、コスト競争力を高め、生産設備並びに技術開発体制の強化に備えるとともに、今後の事業展開に向け、有効に活用していく所存です。

2022年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり60円の配当を実施いたしました。





## 持続的成長に向けた社外視点の活用

東京証券取引所の市場区分見直しやコーポレートガバナンス・コードの改訂により、企業において社外取締役に求められる役割は、ますます大きく重要なものになっています。昭和真空が目指す持続的成長と企業価値拡大に向けて、社外の視点をどう活かすべきか。小俣社長と独立役員である山本社外取締役に語ってもらいました。

代表取締役執行役員社長 小俣 邦正 × 社外取締役 山本 雅子

### 「門外漢」の社外取締役として果たす役割

**山本** 社外取締役に就任して4年が経ちました。私は、当社の事業に関する専門的知見は持っていませんし、就任当初は企業経営に関しても門外漢でしたが、会社というのは、いろいろなバックボーンを持つ人が集まり、価値を生み出す場だと考えてきました。株主の負託に応える立場

として、経営に率直かつ多様な問いを投げ掛けていくことに社外取締役の意義があると、改めて自覚しています。

**小俣** 山本さんは、相模原市の人事委員会で知り合いました。議論におけるアプローチが斬新で、自分と異なる視点を多く持っている方だと感じ、当社の発展に力を貸していただきたいと思ったのです。業界外・専門外の方に取締役に務めてもらうためには、的確な資料の用意やわかりやすい事前説明をする必要があります。それが執行側の意識を外向きに変えることにつながっています。

**山本** 取締役会では、従来からざっくばらんに意見交換がなされ、風通し良い運営が行われてきた印象を受けました。その一員に私に加わることで、メンバー構成の多様化による、いい意味での異分子として働きかけができればと思っています。この4年間でそうした役割を徐々に果たせた気がしますし、私自身も事業内容への理解が進み、積極的に発言させてもらっています。



**小俣** 取締役会に上程される議案については、第三者的な客観性や世間の価値観を踏まえた判断が必要になります。それらを備えた山本さんを迎えたことで、討議の中身も深掘りされ、より熱の入ったものになってきました。

### 社外視点から見た昭和真空の特長と課題

**小俣** 企業文化や社風については、どう思われますか。

**山本** 昭和真空という会社は、規模は大きくありませんが、家族的な一体感を持った事業体であり、この2年間においても、全社を挙げて業務効率の改善に大きな努力を注ぎ、コロナ禍における厳しい事業環境を乗り越えてきました。各部門における社員の頑張りが一つにまとまり、着実に成果を上げていく企業文化の良さが表れています。また、社内ですれ違う全ての社員が礼儀正しく挨拶してくれることに強い印象を受けました。人材教育に力を入れ、社員を大切にしていると感じます。

**小俣** おっしゃる通り、規模が小さいながらもお客様に価値ありと感じていただける企業を理想としており、社員には「ニッチトップをたくさん作っていこう」と呼びかけています。そうした方向性を全社員が共有し、同じ価値観をもって成長目標を達成していく会社でありたいと考えています。

**山本** ニッチな先端分野における成長を目指す企業として、堅実な経営を進めていますが、強みをより強化するための技術開発が課題であり、これは引き続き積極的にチャレンジしていくスタンスですね。

**小俣** 持続的成長を実現していく上で一番大事なものは、市場優位性を築き上げることです。そのための技術開発は、当社単独でなく産学共同による研究など、外部との共創を通じて加速する必要があります。

**山本** 研究開発は多くの費用がかかり、利益につなげていくまでが大変です。私が専門領域でお手伝いできることはありませんが、職場の働きやすさや人材育成面などの取り組みに関してサポートできればと考えています。

### 持続的成長に向けた人づくり・職場づくり

**山本** 当社の女性社員比率は、現在約10%と低く、職



場では長らく男性中心の意識が浸透してきたと思います。こうした風土を変革して女性社員比率を高め、その活躍を促進することは、当社が未来に存続していくための必須条件と言えます。

**小俣** 今期より「女性活躍推進行動」を始動し、2年前から先行している「次世代育成支援行動計画」とあわせて、育児休暇取得率の向上を図っています。これは子育て世帯の女性社員だけでなく、そうした家庭を持つ男性社員も支えていく取り組みであり、仕事と家庭をともに充実できる職場づくりとして進めるものです。

**山本** 大いに期待したい取り組みですね。育児休暇制度があるから「いい会社」なのではなく、ワーク・ライフ・バランスの尊重を打ち出せる企業姿勢が重要です。家庭生活に余裕が生まれれば、会社にいる時は仕事に専念でき、実力を十分に発揮することが可能になります。社員のモチベーションを高め、さらに「いい会社」へ進化していけるでしょう。

**小俣** 人材面では、女性活躍推進だけでなく、技術伝承のためのシニア人材活用も重要なテーマとなっています。山本さんには、引き続きダイバーシティやコンプライアンス、ハラスメント対応など、人づくり・職場づくりに関する多くの助言をいただきたいと考えています。なお当社取締役会は、今期から独立役員の社外取締役に1名増員し、取締役8名のうち社外取締役3名(独立役員2名)の体制としました。スタンダード市場への移行に伴い、同市場が求めるガバナンス水準に適応すべく、さらなる社内体制の整備を図り、社外取締役による監視と助言を受けて、企業価値の拡大に資する経営を行ってまいります。

## 株式の状況

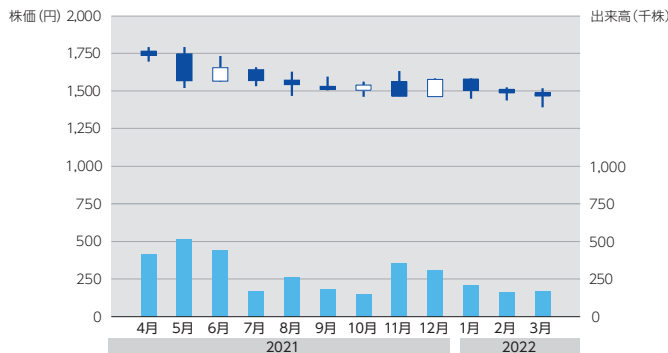
発行可能株式総数 13,800,000株  
 発行済株式の総数 6,499,000株  
 株主数 5,063名

## 大株主

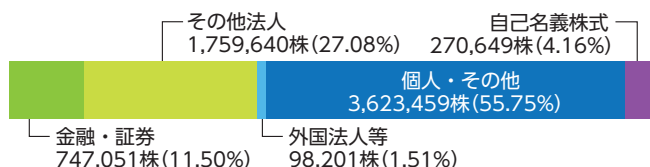
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.35
小侯邦正	602,100	9.67
有限会社小侯興産	341,440	5.48
小侯佳子	160,000	2.57
昭和真空従業員持株会	145,752	2.34
株式会社三菱UFJ銀行	145,000	2.33
日本生命保険相互会社	115,200	1.85
株式会社みずほ銀行	96,000	1.54
小侯みつこ	80,000	1.28
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	69,800	1.12

(注) 1. 持株比率は自己株式(270,649株)を控除して計算しております。  
 2. 当社は「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)(以下「信託E口」といいます。)が当社株式69,800株を所有しております。なお、信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めておりません。

## 株価及び売買高の推移(月次)



## 所有者別株式状況(株式数)



## 株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 定時株主総会 6月下旬  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日  
 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告します)  
 公告方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。  
 URL <https://www.showashinku.co.jp/>

## 会社概要

商号 株式会社昭和真空  
 設立 1958年(昭和33年)  
 資本金 2,177,105,200円  
 従業員数 197名(連結244名)  
 営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの総合的な真空関連装置並びに真空機器等  
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンプレーティング装置、ALD装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モニター(多色式、単色式)、IAD 冷陰極イオンソース、液晶注入装置、その他  
 取引金融機関 三菱UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、きらぼし銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

## 事業所

●本社・相模原工場  
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10  
 TEL. 042-764-0321/FAX. 042-764-0329

## 役員(2022年6月24日現在)

代表取締役執行役員社長	小侯 邦正	社外取締役	山口 堅二
取締役執行役員専務	市川 正	社外取締役	山本 雅子
取締役執行役員	高橋 理	社外取締役	浅見 行彦
取締役執行役員	久島 博美	常勤監査役	金子 奈津樹
取締役執行役員	田中 彰一	社外監査役	佐久間 豊
		社外監査役	田本 広明
		執行役員	瀧本 昌行

## グループ会社及び関係会社

### ●グループ会社

昭和真空機械(上海)有限公司

- 所在/中国上海市
- 主な事業内容/当社装置の生産

昭和真空機械貿易(上海)有限公司

- 所在/中国上海市
- 主な事業内容/当社装置・部品の販売、サービス・メンテナンス

株式会社エフ・イー・シー

- 所在/埼玉県狭山市
- 主な事業内容/マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

### ●関係会社

Sansei-Showa Co., Ltd. USA

- 所在/米国オハイオ州



昭和真空機械(上海)有限公司  
 昭和真空機械貿易(上海)有限公司



株式会社エフ・イー・シー

## IRカレンダー 第65期(2022年4月~2023年3月)

5月	第64期 決算発表	11月	第65期 第2四半期決算発表
6月	第64回 定時株主総会 有価証券報告書提出	2月	第65期 第3四半期決算発表
8月	第65期 第1四半期決算発表	3月	31日 第65期 決算日

### ●トップページ

<https://www.showashinku.co.jp/>  
 ホームページでさまざまな情報をご覧いただけます。



●「株主・投資家の皆様へ」トップページ  
<https://www.showashinku.co.jp/ir/>  
 株主の皆様へ有益なIR情報はこちらをご覧ください。

